

科目名	子どもの食と栄養（保育士必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022年度 後期	単位数	2
担当教員	鈴木 秀子、水尾 和雅、小林 未希		
内容および計画	食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得し、妊娠期（胎児期）、乳児期、幼児期、学童・思春期の各段階に応じた健全な発育・発達を促すために必要な事柄を栄養と食生活の面から学ぶ。また、家庭や児童福祉施設における食生活の現状や課題、特別な配慮を要する子どもへの対応について学ぶ。		
1	子どもの健康と食生活の意義		
2	子どもの発育・発達と食生活		
3	栄養に関する基礎知識 ○栄養素・栄養整理・代謝に関する基本的知識		
4	栄養に関する基礎知識 ○日本人の食事摂取基準の意義とその活用 ○献立作成・調理の基本		
5	子どもの発育・発達と食生活 ○妊娠期（胎児期）の食生活		
6	子どもの発育・発達と食生活 ○乳児期の授乳・離乳の意義と食生活		
7	乳児期の栄養（実習） ○乳汁栄養（調乳法）		
8	乳児期の栄養（実習） ○離乳食（形態と与え方）		
9	子どもの発育・発達と食生活 ○幼児期の心身の発達と食生活		
10	幼児期の栄養（実習） ○幼児食（3歳以上児給食の実際）		
11	幼児期の栄養（実習） ○幼児食（3歳以上児給食の実際）		
12	子どもの発育・発達と食生活 ○学童期・思春期の心身の発達と食生活		
13	食育の基本と内容		
14	家庭や児童福祉施設における食事と栄養		
15	特別な配慮を要する子どもの食と栄養		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
	ISBN	発行年	
	子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養	堤ちはる・土井正子	萌文書林
	978-4-89347-154-3	2021	
参考書			
成績評価			
	評価方法	割合(%)	

筆記試験	40
課題等	30
実習レポート	20
実習意欲	10
<b>学習到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養の基礎知識を習得し、自ら望ましい食生活を実践できる。</li> <li>2. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解する。</li> <li>3. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。</li> <li>4. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。</li> <li>5. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。</li> <li>6. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。</li> </ol>
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	
<b>その他</b>	